

1 月 30 日 : 大型株を中心に下落

ベトナム株はまちまちとなり、VN 指数は続いていた上昇を終えることになった。1%以上の下落となったが、外国人投資家の買いが下げをやわらげた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 14.53 ポイント (1.3%) 安の 1,102.57 ポイントで取引を終えた。

テト休暇明けの最初の取引日は上昇しており、8 連騰となっていた。

指数は下落したが、騰落別ではポジティブであり、193 銘柄の上昇に対して 149 銘柄が下落していた。

流動性は増加し、売買代金は 13.6 兆ドンであった。出来高は 7.98 億株だった。

銀行、不動産、製造業の主要銘柄の下落が指数を押し下げた。

VN30 指数は 16.7 ポイント (1.48%) 下落し 1,113.95 ポイントで取引を終えた。採用銘柄の内の 22 銘柄が下落し、6 銘柄のみが上昇した。

ベトコムバンク (VCB) が下げに最も寄与した。ビンホームズ (VHM)、ビングループ (VIC)、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、ペトロベトナムガス (GAS) などがそれに続いた。

その他の大型株でも、VP バンク (VPB)、軍隊商業銀行 (MBB)、ベティンバンク (CTG)、テクコムバンク (TCB)、マサングループ (MSN)、ビンコムリテール (VRE) などが下落した。

ハノイ取引所の HNX 指数は続伸、0.02 ポイント (0.01%) 高の 220.78 ポイントで取引を終えた。

出来高は 1.07 億株で売買代金にして 1.6 兆ドンだった。

外国人投資家は買い越しを続けた。ホーチミン市場では 7,458 億ドンを買越しした。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。